

外部との連携も取り入れ、より大きなシステムへの成長目指す ～次世代トラボの開発に向けてアクション開始へ～

業務渡航を主体とした旅行業基幹システム「トラベル・エボリューション」(通称:トラボ)を提供するトラベル・エボリューション。エヌオーイー (NOE) グループのシステム販売会社として09年に事業をスタートし、14年1月5日には会社設立5周年を迎えた。ユーザー企業は20社に迫り、システム端末台数も1000台弱まで増大。今後は外部との提携も視野に、機能的にも展開範囲的にもさらに大きなシステムを目指す。

業務渡航のノウハウが詰まったトラボ

「トラボ (TRAVO)」は、業務渡航分野で長年の実績を積み重ねてきたNOEが、業務渡航のノウハウを結集して独自開発した基幹システム。これを業界共通の財産として提供していくことを決めたNOEは、トラボのシステム販売を専門に行う子会社としてトラベル・エボリューションを設立し、外部への提供を行ってきた。

09年にトラベル・エボリューションを設立して販売を開始して以降、トラボは業務渡航系の旅行会社を中心に導入企業が順当に増加。「20社に手が届く段階が近づいて来た」(小山文宏社長)。またトラボのASP版に位置付けられる「トラベル・マイスター」を含めればユーザー企業数は、すでに20社を超えて業界に普及している。



業務渡航系の旅行会社を中心に導入企業が順当に増加。「20社に手が届く段階が近づいて来た」(小山文宏社長)。またトラボのASP版に位置付けられる「トラベル・マイスター」を含めればユーザー企業数は、すでに20社を超えて業界に普及している。



トラボの業界からの評価が高い理由は、機能性の高さと、それを常に維持するための積極的な投資姿勢だ。もともとトラボは、NOEが実務の中で鍛え上げてきたシステムだけに完成度が高く、機能性の高さや優れた操作性は証明済み。システム構築の専門会社には提供できない「旅行業務で培ったお客様視点でのサービス開発」が大きな強みとなっている。

そのうえ変化のスピードが増す業務渡航市場のビジネス環境に合わせて常にシステムをバージョンアップするための投資を怠らない。これまでも米国への渡航申請に欠かせないESTA(電子渡航認証システム)への対応強化や、PNR取り込みと券面取り込みに関するGDSとの連携強化を行ってきた。また成田空港保安料(OI)を成田使用料(SW)と別行で計上できるように改良したり、与信管理単位を従来の企業支店単位から企業単位の管理へ変更したりするなど、旅行会社の使い勝手に配慮したきめ細かい改良を施してきた。このほか危機管理機能の強化や、PNR取り込み速度の改善、渡航書類印刷機能の強化なども次々と実現してきた。直近の事例では13年にINFINIでのホテルPNRの取り込み機能も強化している。トラボは一連のバージョンアップには数千万円を投資し、常に実用面で高い性能を維持することに努めている。

出張支援システム「シー・ファイブ」も提供

さらに親会社のNOEの出張支援システム「シー・ファイブ(C-five)」の、トラボ・ユーザーへの提供も13年夏から開始。ユーザーにとっては、トラボ導入のインセンティブが一段と増えた格好だ。

「シー・ファイブ」は、フライトスケジュール確認や予約、出張稟議申請、精算などを、出張者自身で行えるのが特徴。出張者は時間を気にせず、自分の予約やフライトスケジュールを確認でき、国内出張に関しては国内航空券の予約から精

算まで行えるオンライン予約システムとして機能する。旅行会社にとっては負担軽減とサービス向上を同時に実現できるものとなっている。

また「シー・ファイブ」は出張者の所在確認、安否確認などの危機管理に役立っており、予約記録・渡航履歴確認といった出張管理に活用したりもできる。

ユーザー支援態勢も強化

ユーザーの拡大に合わせてユーザー支援態勢も強化している。13年8月1日には大阪営業所も開設し、関西方面でのサポート態勢及び営業態勢を強化した。

ユーザー拡大に伴い端末利用台数も増大し、トラボを利用する旅行会社スタッフの数も1000人近くまで増えている。サポートサービスなどを担当するソリューション事業部の田島武俊マネジャーは、

「利用者がこれくらい増えると、問い合わせ内容も多岐にわたるようになり、初歩的な内容からエラー処理の仕方などまでに幅広く対応していかなければならない。しかし、それがわれわれの役割だと考えているので、どのようなことでも不明な点やうまくいかない点があれば質問していただきたい。できる限り丁寧に対応させていただく」としている。



数年内に次世代トラボを投入

会社設立5周年という節目を迎えたトラベル・エボリューションでは、将来の更なる飛躍を視野に入れた取り組みにも着手していく方針だ。小山社長は「まだ

具体化はしていないが、ユーザーである旅行会社に貢献できる新たな機能であれば、GDSと力を合わせて開発していくことも必要だ」としておりGDSとの連携の可能性を探っていく考えだ。

またトラボは旅行業界の発展に資する優れたシステムであるとの自信の裏付けのもとに、さらに強力でシステムの普及を図りたい考えだ。小山社長は「たとえばトラボというソフトと、サーバーなどのハードを組み合わせ提供していくことも考えていきたい。ハードを取り扱う、より大きな販売力を持った企業と連携することで、トラボの普及を加速できる」とみている。

さらに、旅行業界の新時代を見据えた次世代トラボの開発に向けて「実際にアクションを起こしていく」(小山社長)との方針で、「近い将来、数年内には次世代トラボを発表できるようにしたい」(同)としている。

未来のために機能は進化する

「TRAVEL EVOLUTION」(通称:TRAVO)は

業務渡航をはじめとする個人旅行のエキスパート

株式会社エヌオーイーの業務ノウハウを集積した

旅行者への快適なサービスを効果的に提供できるシステムです。

個人旅行特有の複雑な業務フローをカバーします。

株式会社 トラベル・エボリューション (英文名称 Travel Evolution Inc.)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館15階(株式会社エヌオーイー内)

☎電話:(03)3254-7800 ☎E-mail: travo@noe-j.co.jp